

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 27 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	自主事業運営費							
担当課係名	市民会館	業務	係	作成者	新田康久			
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ			
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備						
	主要施策	社会教育施設の充実						
予算費目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	10 目	市民会館費
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 成年度 <input type="checkbox"/> 平成年度 <input type="checkbox"/> 年度		新規 <input type="checkbox"/> 続の区分 <input type="checkbox"/>		継続			
性質区分	市民サービス	公共事業	施設維持管理	補助金	内部管理			
根拠法令等	劇場法							
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務							
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託)		<input type="checkbox"/> 民間委託(全部)		<input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市民のため
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	主催事業の実施により市民に芸術鑑賞機会を提供し、市民の芸術文化を向上する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	芸術文化の中核機関として市民に質の高い芸術鑑賞機会を提供し、市民の芸術意識を向上する。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	26年度実績	27年度実績	
効果	活動指標	公演数	目標	回	3	3
			実績	回	3	3
			達成度		100.0%	100.0%
	成果指標	鑑賞人数	目標	項目	1,200	1,200
			実績	項目	1,030	1,220
			達成度		85.8%	101.7%
投下コスト	項 目		総事業費	26度決算額(千円)	27年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			691	991	
	人 件 費 (B)		—	400	419	
	職 員 数		—	0.05	0.05	
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,004	8,380	
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,091	1,410	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他				
		一 般 財 源			1,091	1,410
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	363,667	470,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	38	50	

【事務事業の今までの成果】

市民に良質な芸術を提供するべく年1回以上の自主事業を展開してきた。特に近年はレベルの高さに定評があり、市内に愛好家の多い吹奏楽による自衛隊音楽隊コンサートを開催してきた。仙北市は災害救助・スポーツ大会等で特に自衛隊との良好な関係があり、本音楽祭によりその関係を良好なものとしてきた。音楽隊による市内吹奏楽部の音楽指導もたびたび開催しており、そのレベルアップに寄与した。また、近年はロビーコンサートを開催することで、市民に気軽に音楽に親しんでいただく活動も行っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	劇場法制定から文化により力を入れている。特にオリンピックに向け文化活動の活発化が生じている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	毎回非常に良かった旨の感想をいただいております、次回も期待されている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 1	A 現状のまま継続（実施）	本来プロの芸術は対価を払って鑑賞すべき物で有り、受益者負担の意味からもしっかりとした有料事業を提供することと、市民発信の手作りのイベントとが車の両輪のようになって芸術文化の向上が見込める。よって収益も見込んだ事業化が必要。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 1	1000人収容のホール使用は数が限られるので、少ない人数でも開催できるロビーの模様替えを提案したい。そうする事で利用率も格段に上がるのではないかと。

